

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見 資料 2-⑧

令和 4 年 3 月 30 日

経済産業部産業観光課

担 当：高橋

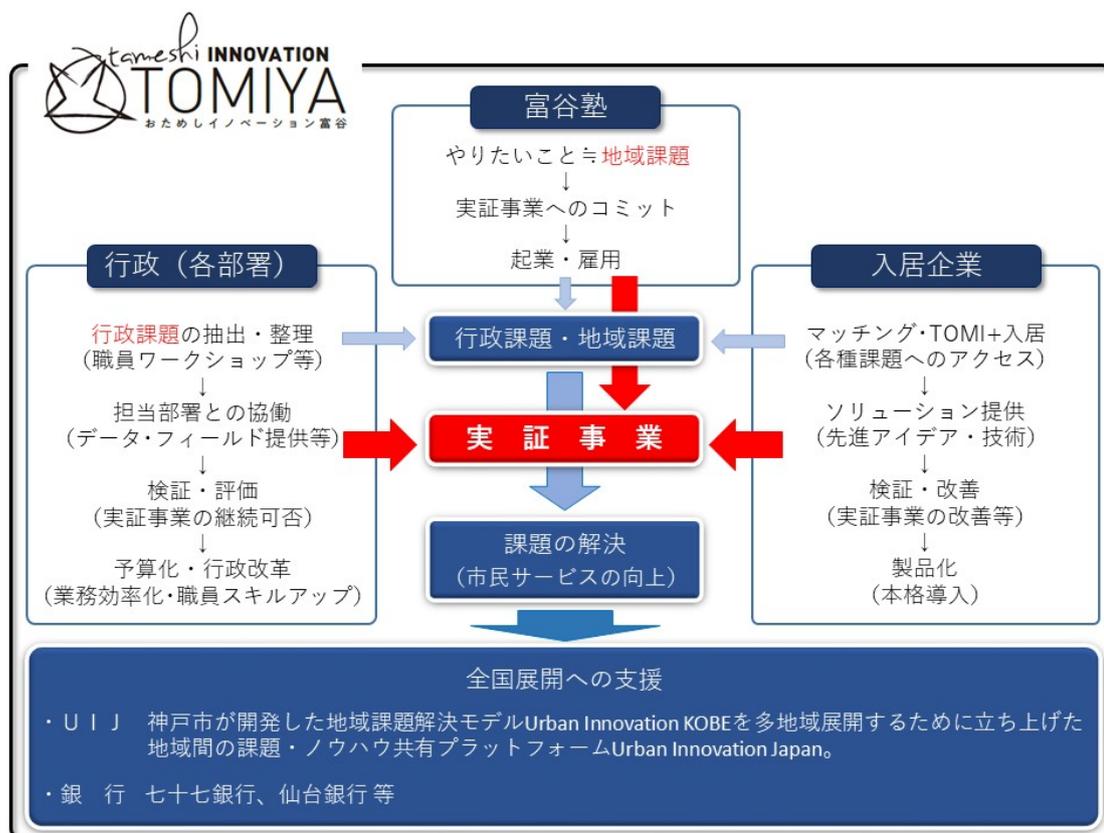
連絡先：022-358-0524

官民連携 実証事業「おためしイノベーション富谷」 社会課題解決プロジェクト参画企業が決定！

ヒト・モノ・コトが集まる富谷市まちづくり産業交流プラザ「TOMI+」では、「行政・民間企業・住民（富谷塾）」との協働で、行政課題や地域課題に対して民間のサービス・テクノロジーの活用により最適な解決策・サービス検証を行う「おためしイノベーション富谷（OIT）」に取り組んでいます。

この度、OIT で洗い出した 4 つのテーマについて官民協働で解決に導く参画企業が決定し、今後 4 月～6 月の 3 か月間で、サービス開発から実証実験、検証作業までの一連を決定企業と市職員が「協働」で取り組みながら、新たなサービスの提供を目指します。（令和 4 年 3 月に協働開始して 4 月から実証実験、5 月に検証、7 月に成果報告となります。）

報道機関の皆さまにおかれましては、行政・地域課題解決に向けた本事業での取り組みをぜひ取材いただきますようお願いいたします。



■課題① 概要

少子高齢化や、町内会業務の負担感増により、退会者が増え、なり手が減ることにより全国的に町内会離れが起きている。この課題を実証企業がもつ「参加型合意形成プラットフォーム」により広くアイデアを集め、解決方法を探る実証実験である。

○所管課：総務部 市民協働課

○採択企業：株式会社 Liquitous

所在地 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 2044-29

URL <https://liquitous.com/>



■課題② 概要

幼保教育無償化において、複雑な制度により多量の申請書類による煩雑な手続きが必要となり、行政と幼保施設、保護者それぞれの負担感が増加している。新たな申請システムを実証企業と構築することにより、効率的なサービス提供を行い、行政、幼保施設、保護者のそれぞれの負担感を減らすことを目的としている。

○所管課：教育部 教育総務課

○採択企業：なべちゃんファクトリー

所在地 滋賀県長浜市元浜町 31-31-101

URL <https://ntiwatanabe.wixsite.com/website-1>



■課題③ 概要

「とみばす」の入金申請に関して、手続きに煩雑なシステム操作が伴うため、本庁でしか申請ができず、窓口が混雑してしまうという課題がある。

新たなシステムにより簡素化し、出張所での申請も可能とすることで窓口の混雑も解消し、利用者の利便性向上につなげることが目的。また実証企業の持つ健康促進アプリと連携し外出促進による利用者の増加も併せて実証の予定としている。

○所管課：保健福祉部 長寿福祉課

総務部 総務課 デジタル化推進室

○採択企業：株式会社アップリーチ

所在地 千葉県浦安市入船 1-5-2

プライムタワー新浦安 5F

URL <https://www.appleach.co.jp/>



■課題④ 概要

開園してから 25 年が経過し、施設・遊具等の老朽化により維持管理費が増加していることのほか、効果的な魅力発信が出来ておらず利用者数が横ばいの状態である。この課題を実証企業によりアート等を活用した情報発信及び集客により、効果的なイベント内容の検証を行い、維持管理コストの軽減と収益化の検証を実施することで、将来的な指定管理者制度など民間活力の導入を検討していく。

○所管課：建設部 都市計画課

○採択企業：株式会社 T-Plan

所在地 宮城県仙台市若林区卸町 2-5-7

URL <https://www.t-plan.in/>



≪ 市民の安全を守る道路照明灯と防犯灯の維持管理を効率化したい！ ≫

【背景】

- ・市内に防犯灯は約3,300灯あり、道路照明灯は、約1,900灯ある。
- ・道路照明灯と防犯灯の台帳は、GISで管理しているが、新規に設置したものについてはその都度エクセルデータを更新しているため、既存データについては情報が古いままのものも多くある。
- ・市民や町内会から新規設置要望や不点灯などの問い合わせがあった場合、随時現場確認を行い、必要に応じて修繕工事等を施行している。

【課題】

- ・「道路照明灯等の台帳と現況の整合性精査に伴う現場確認やデータ更新作業」や「電気使用料金の請求確認作業」、「不点灯などの市民から問い合わせがあった際の現場確認作業や業者発注」にその都度膨大な時間を要している上に、事務が煩雑である。

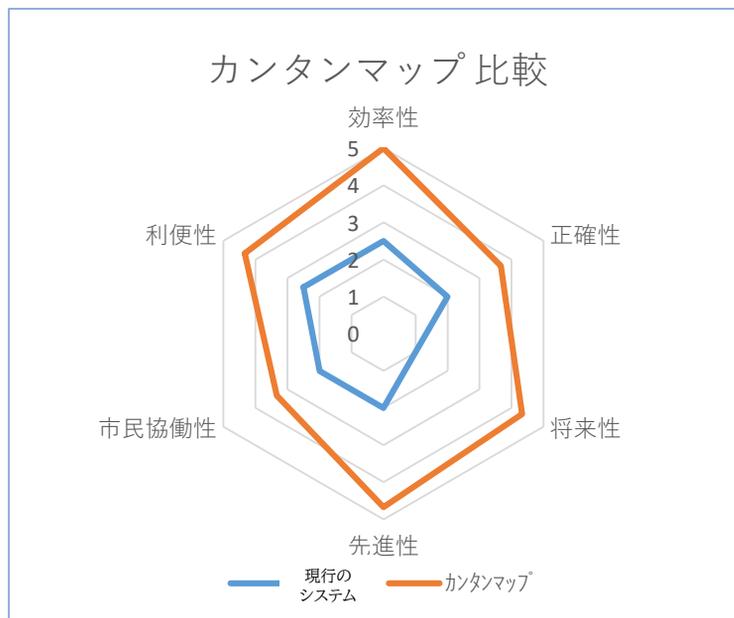


◎ 実証内容

開発にあたって市から提供したものは、道路照明灯と防犯灯の座標地図や管理記録などをまとめたエクセルデータのみ。2週間程度でプロトタイプが完成し、後は開発担当者とオンラインで意見交換をしながら、電球の種類や型番といった管理項目の追加などの微調整を行ったのみでシステムの開発に至った。

実証企業の持つ「地図とクラウドサービスを連携させたアプリケーション」を活用することにより、既存ツールを組み合わせることで、短期間での課題解決、低コスト・低リスクでの運用が見込めた。

令和2年12月には、維持業者にも協力を仰ぎ、新システムの実証実験を2カ月にわたって実施。修繕業務の進行状況（職員による現場確認、業者への発注状況、業者による作業完了報告など）を、関係者とリアルタイムで実際に共有。パソコンやタブレットを介して、簡単に一元管理できるメリットなどを確認した。



【結論】

おためしイノベーション富谷(UIJ)より生まれた、他の自治体に先駆けた先進的な仕組みである。分布図や請求情報等の集計が即座に可能となり、業務効率の向上につながる。その結果、職員負担や業務上のミスが減らすことにつながる。また、改修後の新しい正確な情報に職員自身が簡単に更新できることにより、修繕工事や電気代の請求のミスも減らすことが可能となる。

⇒ **令和4年度 本格導入へ！**